

代表者名	秋山 肇	所管部課名	生活環境文化部県民文化政策課
所在地	秋田市山王四丁目1-2	設立年月日	昭和55年8月1日

【沿革、及び、県の出資理由】

青少年健全育成の推進のため、県民の総意を結集し、国及び県の施策と呼応して青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年10月31日設立。昭和55年8月1日社団法人として、法人化し現在に至る。

【出資者】(13年度末) (百万円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	40	37.3
市町村	69	23	21.5
その他	11,340	44	41.2
計	11,410	107	100.0

【事業】

主たる業務

1. 青少年健全育成に関わる各種広報啓発活動
2. 青少年育成運動推進組織への支援活動
3. 青少年健全育成に関わる大会、研修会開催
4. 青少年の非行防止と社会環境浄化

事業実績 (人)

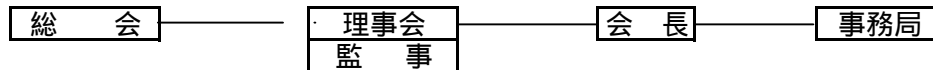
事業名等	11年度	12年度	13年度
会員数の推移	957	1,084	1,053

13年度事業概要及び14年度事業計画・目標

- 1 平成13年度 事業概要
各種啓発活動、大会等の開催のほか青少年育成活動活性化事業を実施した。
また、会員拡大活動に積極的に取り組んだ。
- 2 平成14年度事業計画・目標
各種啓発活動、大会等の開催のほか、青少年育成活動活性化事業を実施する。
また、会員の拡大活動を積極的に取り組むとともに、秋田アンビシャス運動の企画立案をする。

【組織】

運営機構



役員数 (人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県OB				
非常勤		29		2
内、県OB		2		
内、県職員		3		
計		29		2
内、県関係者		5		

職員数 (人)

	人数	備考
正職員	2	正職員 平均年齢
内、県OB		49.5歳
出向職員		
内、県職員		
臨時・嘱託		正職員 平均勤続年数
内、県OB		19.1年
計	2	
内、県関係者		

【財務】

損益状況(13年度) (百万円)

	金額
経常収入 A	16
受託事業収入	3
補助金収入	7
自主事業収入	4
運用益収入	2
その他	
経常支出 B	18
人件費	9
その他	9
経常損益 C = A - B	-2
経常外収入	
経常外支出	
当期損益	-2

財務状況(13年度末) (百万円、%)

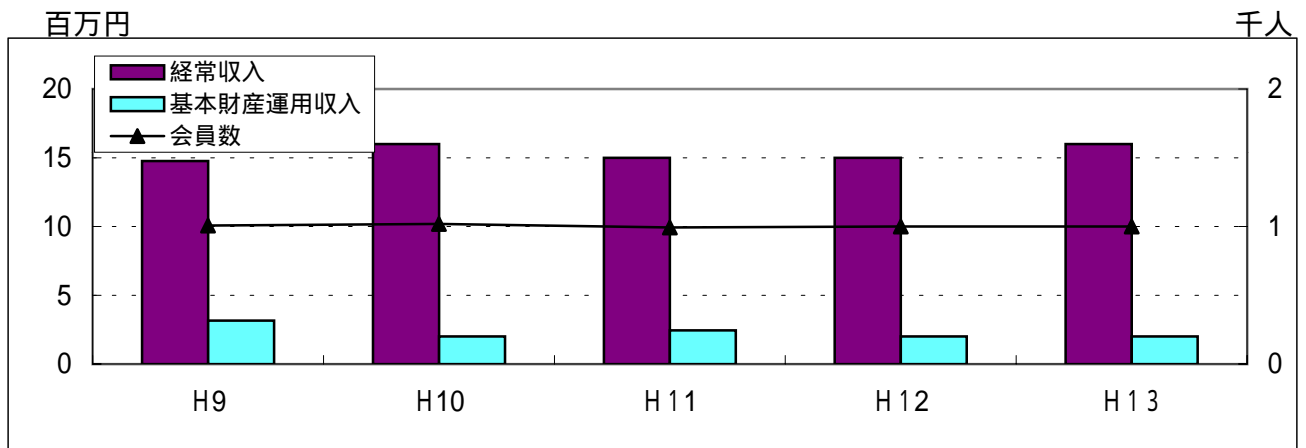
	金額	構成比
流動資産	1	0.8
固定資産	119	99.2
資産計	120	100.0
流動負債	1	0.8
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
引当金等	7	5.9
負債計	8	6.7
資本金	107	89.2
剰余金	5	4.2
資本計	112	93.3
負債・資本計	120	100.0

【県の財政支出】

(千円)

	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	6,475	5,889	6,763	社団法人青少年育成秋田県民会議事業費補助
委託費	2,223	2,729	3,336	「家庭の日」運動推進事業委託
貸付残高				

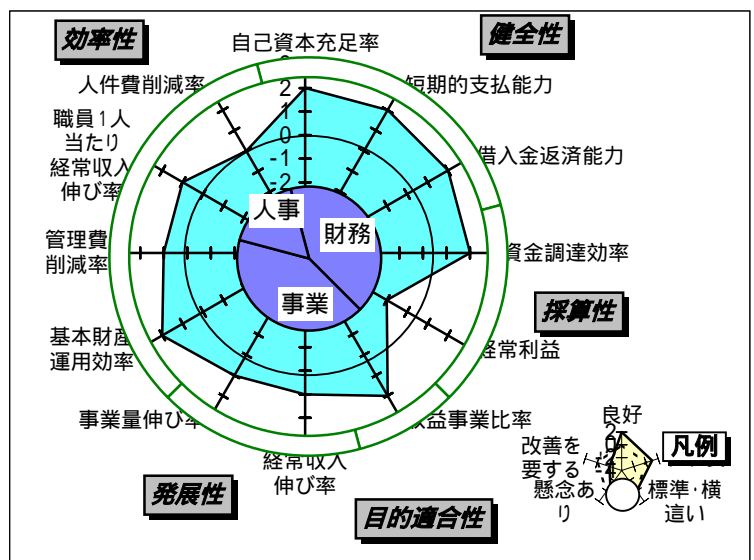
【事業等の推移】（過去5年度）



【諸比率等】（13年度）

自己資本比率	93.51 %
流動比率	153.21 %
借入金返済年数	- 年
支払利息比率	- %
経常利益率	-11.03 %
収益事業比率	0.00 %
経常収入額	16,031 千円
事業量(会員数)	1,053 人
基本財産運用効率	1.48 %
管理費比率	28.49 %
職員1人当り経常収入額	8,016 千円
人件費比率	56.44 %

【各評価項目レーダーチャート】



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

経常収入は、受託事業収入及び補助金収入は増加しているが、自主財源である基本財産運用収入及び会費収入は減少しているため、会員の拡大による会費収入と広告収入等の増加に努める必要がある。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
事業の効率的推進と財源確保について抜本の見直しが必要である。	